第117号
地域ニュース
品川宿
平成27年3月20日発行
品川第一地域センター
03－3450－2000

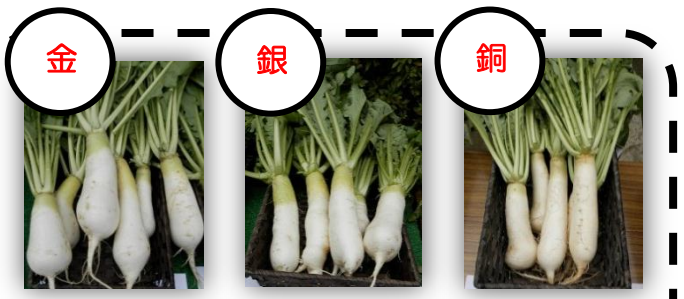
～第三回～ 品川蕪（かぶ）品評会

平成26年12月21日(日)、品川神社境内にて、「東海道品川宿なすびの花」主催による、品川かぶの品評会が行われました。品川かぶは、江戸時代に品川宿の周辺で栽培、食されていた長蕪の一種で、江戸野菜の1つに数えられます。長さが20㎝ほどで、大根のような形が特徴です。

この品評会は、カブの大きさだけでなく、形や葉の色等、全体のバランスを競い合うものです。第3回となった今回は、品川区内の小学校や児童センターのほか、港区や北区の小学校など合わせて23もの団体・個人が参加。前回の品評会に比べ、約2倍の参加数となり、大きな賑わいをみせると共に、品川かぶに対する関心が高まっていることを示しました。

◆見事金賞を受賞した品川学園の皆さん◆

かぶの形や大きさは、種をまく時期や土の状態、水をあげるタイミングなどによって変わってくるそうで、参加した団体・個人によって、カブの形状は大きく異なり、評価者を悩ませていました。そんな中、今回見事金賞を受賞したのは「品川学園」でした。昨年に引き続き2度目の金賞受賞です。品川かぶを育てた2年生の児童は、「大事に育ててきてよかった」と喜びをあらわにしました。そして、銀賞を受賞したのは、八潮児童センター。銅賞は、区立鮫浜小学校。それぞれの受賞者には、記念品と賞品が贈られました。



品川学園　八潮児童センター　鮫浜小学校

また、会場では参加者に、品川かぶと同じ江戸野菜である千住ネギの串かつやネギ焼き、品川バージョンの品川汁など、江戸野菜を使用した料理が来場者に振る舞われました。品川バージョンの品川汁とは、品川かぶと豆乳を使用したもので、品川かぶのしゃきしゃきとした食感と豆乳のまろやかさが相まって絶品です。来場者は「おいしい」と舌鼓をうっていました。さらに品評会終了後、子どもたちに江戸野菜が配られました。その中には、滝野川ごぼうや練馬大根など、他の区で栽培されているものもあり、子どもたちが様々な江戸野菜に親しみを持つきっかけとなりました。

◆振る舞われた品川汁

◆うれしそうに江戸野菜をもらう子どもたち

◆城南第二小学校避難所訓練◆

平成27年2月8日（日）、城南第二小学校にて、城南第二小学校避難所連絡会議主催の避難所訓練が実施されました。

城南第二小学校が避難所に指定されているのは、品川第一地区の櫻心会町会と洌崎町会、品川第二地区の東親会町会です。今回行った訓練内容は、学校に避難した方々の「名簿作成」「使用教室の確認」のほか、「仮設トイレの設営訓練」「ＮＴＴ災害用伝言ダイヤルの体験訓練」「ＡＥＤの操作訓練」「炊き出し訓練」を実施しました。

災害用伝言ダイヤルの体験訓練は、今回初めて日本公衆電話会の方をお招きし、専門家による詳しい説明を受けました。

炊き出し訓練は、物資が不足した状況を想定。それぞれの町会から食材を持ち寄るだけでなく、地域の方がＬＰガスバーナーや大鍋なども持ち込んで訓練を行いました。

災害が発生した際には、大きな混乱や予期せぬトラブルが起こるかもしれません。そのような際には、地域のみなさんが協力し合い、力を合わせて一緒に避難所を運営することが求められます。

今回の訓練の参加者は、「各町会が協力し素晴しい避難所訓練を行うことができた」「とても有意義な時間だった」と感想を述べていました。

回覧																				